

I 古代に関する次のA～Cの文章を読み、それに続く問1～10に答えよ。

A 後のヨーロッパに多大な影響を与えた古代ギリシア・ローマ世界を古典古代と呼ぶことがある。その歴史のなかでも、前5世紀から前4世紀にかけてのギリシアは、さらに古典期と呼ばれている。スパルタはリュクルゴス制と呼ばれる軍事国家体制を敷いていたことから、文学や芸術などの文化活動の痕跡はないに等しいが、アテネでは多彩な人物が活躍した。

B 前4世紀にパンジャーブ地方に侵入したアレクサンドロスの軍勢が撤退した後、広大なインド亜大陸で初の統一勢力となったのがマウリヤ朝である。その最盛期には仏教が信仰されたが、インド古典文化の黄金期を創出したのはグプタ朝であり、ヒンドゥー文化に基づく特有の世界が形成された。

C 儒学（儒教）を中心とする東アジア世界の基礎となったのが、黄河流域と長江流域などの農耕文化を背景に形成された古代中国の文明である。

問1 Aの文中の下線部(1)に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

1

- ① アテネでは、平民の不満を背景としてペイシストラトスが僭主政を打倒し、民主政の基礎となる改革を断行した。
- ② アテネのオクタウィアヌスは、プトレマイオス朝のクレオパトラと結んだアントニウスを破り、エジプトを併合した。
- ③ ダレイオス3世が率いるペルシア軍は、ギリシア征服の遠征に出たが、マラトンの戦いやサラミスの海戦で敗れた。
- ④ マケドニア王国のフィリッポス2世は、カイロネイアの戦いでアテネ・テーベの連合軍を破った。

問2 下線部(2)に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

2

- ① 三段櫂船と呼ばれる軍艦を建造し、デロス同盟を結成して海上覇権を握った。
- ② 陶片追放（オストラキスモス）の制度を定めた。
- ③ 市民団内部の平等を徹底するため、土地の譲渡や貴金属貨幣の使用を禁じ、鎖国政策をとった。
- ④ リキニウス・セクスティウス法を制定した。

問3 下線部(3)に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

3

- ① トマス=アキナスが、イオニア自然哲学を開いた。
- ② 三大悲劇詩人と呼ばれたアイスキュロス・ソフォクレス・エウリピデスが活躍した。
- ③ ソクラテスの弟子のアリストファネスは、『国家』で哲人政治を理想とした。
- ④ ポリビオスはペルシア戦争を主な題材として『歴史』を記述し、「歴史の父」と呼ばれる。

問4 Bの文中の下線部(4)に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

4

- ① この王朝はカニシカ王の時代に最盛期を迎え、陸海の東西交易で繁栄した。
- ② この王朝は、マガダ国の武将チャンドラグプタが都パータリプトラを奪って建てた。
- ③ 絶対神への帰依を説くバクティ運動が盛んになり、バラモン教が成立した。
- ④ 遊牧民エフタルが西北インドに侵入すると、この王朝は崩壊した。

問5 下線部(5)に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

5

- ① アショーカ王は残虐な征服戦争の際に多くの犠牲者を出したことを悔い、仏教に帰依するようになり、ダルマによる統治をめざして各地に勅令を刻ませた。
- ② 上座部仏教は、菩薩信仰を中心に衆生の救済を重視するもので、ナーガールジュナにより体系化された。
- ③ 大乘仏教はヴァルダマーナによって体系化され、主にスリランカから東南アジアに広がった。
- ④ 仏教教学の研究所としてニザーミーヤが各地に建てられたが、その中心となったのはナーランダー僧院だった。

問6 下線部(6)に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

6

- ① この王朝は、奴隷だった將軍アイバクがデリーに建てた。
- ② この王朝は、カーリダーサが王の時代に最盛期を迎えた。
- ③ シヴァ神やヴィシュヌ神など多くの神々を信仰するヒンドゥー教が、社会に定着した。
- ④ 仏教やジャイナ教が盛んとなり、中国（東晋）から鳩摩羅什が訪れた。

問7 Cの文中の下線部(7)に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

7

- ① 後漢時代、儒学を学んで官界に進出した豪族の勢力と皇帝側近の宦官や外戚との対立が深まり、靖康の変が起こった。
- ② 秦の始皇帝は、貨幣・度量衡や文字の統一を図り、李斯を登用して儒家思想に基づく政治を推し進めた。
- ③ 前漢の武帝の時代に、董仲舒の提案により儒学が官学とされ、礼と徳の思想による社会秩序の安定化が目指された。
- ④ 宋代には、朱子学に代わって経典全体を哲学的に読みこんで、宇宙万物の正しい本質(理)に至ろうとする訓詁学が興った。

問8 下線部(8)に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

8

- ① 新羅は唐の制度・文化を摂取して律令制を敷き、両班と呼ばれる官僚による中央集権的支配体制が確立した。
- ② 8世紀半ばにウイグルは東突厥を滅ぼし、唐の混乱に乗じて中国を圧迫したが、その後、キルギスに敗れて滅亡した。
- ③ 7世紀前半、チベット人のソンツェン=ガンボがラサを都として青海を建て、やがて吐谷渾を退けて強国となった。
- ④ 7世紀中ごろ、雲南地方にチベット=ビルマ系の吐蕃が建国され、唐から漢字・儒教・律令制を取り入れた。

問9 下線部(9)に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

9

- ① 塩の密売人が起こした黄巾の乱を機に、長江流域の軍事集団が割拠して、唐は滅んだ。
- ② 戦国の七雄と呼ばれる国々のうち、長江流域を支配したのは、魏である。
- ③ 江南の建康(建業)に都をおいた呉・東晋・宋・齊・梁・隋は、六朝と呼ばれる。
- ④ 明末には長江中流域が新たな穀倉地帯となり、「湖広熟すれば天下足る」と称せられた。

問10 下線部(10)に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

10

- ① 黄河流域には、彩陶を特徴とする竜山文化の後に、黒陶を特徴とする仰韶文化が形成された。
- ② 中国における青銅器時代は、周王朝が殷を倒した時代に始まった。
- ③ 唐代に中国に伝えられた景教とは、イラン起源のゾロアスター教の一派、マニ教のことである。
- ④ 唐は隋の制度を受け継ぎ、律・令・格・式からなる法体系を作り上げた。

Ⅱ イスラーム世界，ヨーロッパ世界，内陸アジア・東アジア世界の形成と発展に関する次の問
1～10に答えよ。

問1 イスラーム世界に関する次の①～④の記述のうち，正しいものをひとつ選び，その番号
をマークせよ。

11

- ① アッバース朝は，アラブ人の免税特権などを保障したため，改宗した非アラブ人（マ
ワーリー）の不満が募り，ホラーサーン軍による反乱を機に倒された。
- ② スンナ派のファーティマ朝はエジプトを征服して，現在のカイロ大学の祖となるアズ
ハル学院を建てた。
- ③ 西北イランで台頭したブワイフ朝の君主はバグダードに入城し，カリフからスルタン
の称号を与えられた。
- ④ モスクや市場，病院などの公共施設は，支配者や富裕者が功德を積むために行ったワ
クフによって建設・維持された。

問2 イスラーム世界に関する次の①～④の記述のうち，正しいものをひとつ選び，その番号
をマークせよ。

12

- ① 数学では，古代ローマから十進法やゼロの概念を学んで計算が便利となり，フワーリ
ズミーは，天文学や代数学に関する書物を著した。
- ② スンナ派の代表的ウラマーであったガザーリーは，スーフイズム（イスラーム神秘主
義）を理論化した。
- ③ トルコ系のセルジューク朝は，軍隊にはイラン系遊牧民，官僚にはトルコ系の人々を
登用し，イクター制を廃止した。
- ④ モロッコ生まれのイブン＝ハルドゥーンは，各地を旅行し，『大旅行記（三大陸周遊
記）』を残した。

問3 イスラーム世界に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

13

- ① アウラングゼーブ帝の時代にムガル帝国の領土は最大になったが、彼はジズヤの復活やヒन्दゥー寺院の破壊などを行ったため、ヒन्दゥー教徒の反発を招いた。
- ② 「海の道」の結節点として繁栄していたマラッカ王国は、明の派遣した鄭和艦隊の補給基地となったため衰退した。
- ③ 16世紀のインドでは、バールンによりイスラームとバクティ信仰を基礎に、シク教が創始された。
- ④ レコンキスタが進むイベリア半島で最後のイスラーム王朝となったナスル朝は、マドリドを都としていた。

問4 ルネサンスに関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

14

- ① イタリア戦争で荒廃した現実を前にして、ダンテは『君主論』を著した。
- ② ミケランジェロは『ダヴィデ像』や『モナ=リザ』などを制作した。
- ③ ボッカチオは、短編集『デカメロン』で黒死病流行下の世相を風刺した。
- ④ レオナルド=ダ=ヴィンチは『ヴィーナスの誕生』や『最後の審判』などで名高い。

問5 大航海時代に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

15

- ① エンリケ航海王子はトスカネリの地球球体説を信じて、コロンブスを西方に派遣した。
- ② スペインは、メキシコのアカプルコとフィリピンのマニラを結ぶ貿易で巨富を得た。
- ③ オランダの西インド会社は、マンハッタン島を獲得してニューヨークと命名した。
- ④ ピサロは、メキシコのアステカ王国を征服した。

問6 ビザンツ帝国と正教諸国に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

16

- ① スラヴ人を教化するために、キリル文字が作られた。
- ② 第3回十字軍はビザンツ帝国の首都を占領し、ラテン帝国を建てた。
- ③ プロノイア制下、世襲貴族化した勢力が自立するようになったため、テマ制が導入された。
- ④ モスクワ大公イヴァン3世は、コサックの首長イエルマークをシベリアに派遣した。

問7 内陸アジア世界に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

17

- ① 契丹が耶律阿保機によって統一され、渤海を滅ぼす勢力となった。
- ② 西遼は、燕雲十六州の奪還を目指す宋と結んで、金を滅ぼした。
- ③ チベット系のタングートは、李元昊のもとで大理を建国した。
- ④ ツングース系の女真は、元に反抗して兵をあげ、完顔阿骨打が清を建国した。

問8 モンゴルに関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

18

- ① 郭守敬は、実測地図『皇輿全覧図』を作成した。
- ② 大都を来訪したとされるジェノヴァ出身の商人マルコ=ポーロは、『世界の記述』でジパングについて述べている。
- ③ チンギス=ハンが創設した駅伝制は、ジャムチと呼ばれた。
- ④ モンテ=コルヴィノは、ルター派教会により大都に派遣された。

問9 明・清に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

19

- ① アダム=シャルは、バロック・中国様式を組み合わせた円明園を設計した。
- ② 清の康熙帝は、ロシアのエカチェリーナ2世とネルチンスク条約を結んだ。
- ③ 明の復興運動で活躍した鄭成功は、台湾からポルトガル勢力を追放した。
- ④ 清の時代に、丁税を地税に組み込んで事実上地税に一本化する地丁銀制が採用された。

問10 明代の東アジア世界に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

20

- ① 高麗の武臣李成桂は、クーデタをおこして実権を握り、国号を朝鮮とした。
- ② 朝鮮では15世紀半ばに、独自の表意文字である訓民正音（ハングル）が公布された。
- ③ 明の征服を考えた織田信長は、朝鮮にその先導を求めたが拒絶され、朝鮮に大軍を送った。
- ④ 室町幕府の将軍足利尊氏は、明に冊封され「日本国王」の称号を受けた。

Ⅲ 前近代の歴史に関する次の問1～10に答えよ。

問1 西ヨーロッパ修道制に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

21

- ① クリュニー修道院は、戒律の順守を求める精神的な改革運動を起こした。
- ② シトー修道会は、耕地を広げるために森林や荒地の開墾運動を進めた。
- ③ フランチェスコ修道会は、民衆の中に入って教化したため托鉢修道会と呼ばれている。
- ④ ベネディクト修道会は、ベネディクトゥスによってフランスのモンテ=カシノに創設された。

問2 トルコ・イラン世界に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

22

- ① イランのサファヴィー朝は、シーア派系の神秘主義教団の教主イスマーイール1世により、タブリーズを都として開かれた。
- ② カージャール朝のアッバース1世は、新たな都としてイスファハーンを造営し、「王の広場」に隣接して「王のモスク」などを建設した。
- ③ オスマン帝国のメフメト2世は、コンスタンティノープルを攻略してビザンツ帝国を滅ぼし、この地に遷都した。
- ④ ティムールはオスマン軍をアンカラの戦いで破り、その後モンゴル帝国の再興を目指して明への遠征を行ったが、その途上で病死した。

問3 16世紀のオスマン帝国に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

23

- ① イェニチェリ軍団は、キリスト教徒の子弟を強制的に集めて編制したスルタンの常備軍である。
- ② スレイマン1世はハンガリーを征服し、ウィーンを包囲してヨーロッパ諸国に脅威を与えた。
- ③ オスマン海軍は、プレヴェザの海戦でスペインなどの連合艦隊に敗れた。
- ④ フランス商人に領内での居住と通商の自由の特権が与えられた。

問4 宗教改革に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

24

- ① イエズス会は、カトリック教会の勢力回復のため、ヨーロッパ内部での活動とともに海外での布教活動に従事し、イグナティウス=ロヨラをアジアに派遣した。
- ② カルヴァンは、魂の救済はあらかじめ神により決定されているという「予定説」を説き、また、教会組織のうえでは長老主義を取り入れた。
- ③ ヘンリ8世は、国王至上法で国王がイギリス国内の教会の首長であると宣言してローマ教会から離脱し、さらに、修道院を廃止してその財産を没収した。
- ④ ルターは、ドイツ農民戦争に際し、当初は農民に対して同情的だったが、やがてそれを弾圧する諸侯の側に回った。

問5 15世紀から16世紀にかけてのヨーロッパに関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

25

- ① イギリスでは、農地を生垣や塀で囲んで牧場に変えるエンクロージャーが進んで、毛織物工業が盛んとなった。
- ② イタリア戦争は、ハプスブルク家とフランスのヴァロワ家の対立を軸に、ローマ教皇やイタリア内の小国家のみならずイギリスなども巻き込んで続いたが、カトー=カンブレジ条約で終結した。
- ③ ネーデルラントの北部7州は、ユトレヒト同盟を結んでスペインに対抗し、ネーデルラント連邦共和国の独立を宣言した。
- ④ フランスではシャルル9世と摂政マリー=ド=メディシスのもとでユグノー戦争が勃発したが、ブルボン朝を開いたアンリ3世がナントの王令を出してこの内乱を終わらせた。

問6 「17世紀の危機」に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

26

- ① 三十年戦争において長年にわたり戦場となったドイツは、人口が激減して荒廃したが、東北隅にあって戦禍をあまり受けなかったプロイセンが、急速に台頭してくることとなった。
- ② 17世紀のヨーロッパでは気候が寒冷化し、凶作・飢饉・疫病が頻発し、人口も全体として減少傾向が見られ、オランダを除けば多くの国で海外貿易も落ち込んだ。
- ③ 1618年ベーメン（ボヘミア）の新教徒が、ハプスブルク家の旧教化政策に反抗したことをきっかけに、三十年戦争が始まった。
- ④ 1648年にウェストファリア条約が締結され、その中でアウクスブルクの宗教和議の原則は放棄され、神聖ローマ皇帝の権威と権力が再確認された。

問7 イギリス議会政治の確立に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

27

- ① チャールズ1世の死後、1660年にクロムウェルが国王チャールズ2世として迎えられ、王政復古が実現した。
- ② 1670年代末頃には、国王の権威を重んずるトーリ党と、議会の権利を主張するホイッグ党という2つの党派が誕生した。
- ③ ジョージ1世の治世中の1707年、イングランドとスコットランドは合同して、大ブリテン王国となった。
- ④ ジェームズ2世が専制的な姿勢でカトリックの擁護を試みたため、議会は恣意的な逮捕・投獄を禁じる審査法を制定して市民の自由を保障した。

問8 ロシアに関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

28

- ① エカチェリーナ2世は啓蒙専制君主として名声を博したが、プガチョフの反乱を機に農奴制と貴族の特権を強化した。
- ② ピョートル1世は西欧化政策に転じ、先進的な技術を導入するとともに、徴兵制に基づく常備軍を創設して、ロシア絶対王政を確立した。
- ③ ポーランド分割にも参加したエカチェリーナ2世は、東方ではオホーツク海まで進出し、ペーリングを派遣して日本に通商を求めた。
- ④ ミハイル=ロマノフは1613年にロマノフ朝を開き、専制政治と農奴制を強化した。

問9 ポーランドに関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

29

- ① アメリカ独立戦争に参加してワシントンの副官をつとめたコッシュュートは、義勇軍を率いて列強によるポーランド分割に抵抗したが、敗北した。
- ② 16世紀以降、ポーランドは世界分業体制に組み込まれて西ヨーロッパへの穀物輸出国になると、領主貴族は、農場領主制における直営地の拡大と市場向け穀物の増産により強大化した。
- ③ 第2回ポーランド分割は、フランス革命の混乱に乗じて、オーストリアを除いた形で行われた。
- ④ ヤゲウォ朝が断絶したのちに選挙王政が実施されるようになり、貴族間の争いで政治が混乱する中、3回にわたる分割でポーランド王国は消滅した。

問10 17～18世紀頃のヨーロッパにおける宮廷文化に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

30

- ① 17世紀のスペインやフランスで完成したロココ美術は、豪壮華麗さが特徴であり、ヴェルサイユ宮殿が代表的な例である。
- ② 喜劇作家のモリエールは、ルイ14世時代のフランスにおいて、規則と調和を重んじる古典主義の作品を作った。
- ③ 絵画ではフランドル派のホルネイユや、その門弟ファン＝ダイクが名高く、肖像画や宗教画で宮廷をかざった。
- ④ 18世紀にフランスのワトーが建設したサンソーシ宮殿は、バロック様式の建築として知られている。

IV 18世紀から19世紀にかけての欧米を中心とする経済・政治・文化に関するA～Cの文章を読み、それに続く問1～10に答えよ。

A 18世紀半ば頃に、イギリスはフランスとの戦いに勝利して、広大な植民地を獲得し、海外市場をめぐる争いで圧倒的優位に立った。⁽¹⁾イギリス国内では資本・市場・労働力など産業革命の条件が整い、新たに生まれた機械制工場では、機械によって作業が単純化され、女性や子どもが安い賃金で雇われた。イギリスの産業革命は綿織物の機械化から始まり、蒸気機関の動力への利用によって機械工業、鉄工業の生産性が飛躍的に向上した。⁽²⁾19世紀になると蒸気機関車と蒸気船の発明は交通革命につながり、イギリスは世界各地へ工業製品を輸出する一方、世界の様々な地域から安い穀物・紅茶などの食料品、原綿などの原料を輸入するようになった。こうしてイギリス中心の国際政治・経済秩序が生まれ、イギリスは「世界の工場」と呼ばれるようになった。⁽³⁾

B ナポレオン (=ボナパルト) によって揺るがされたヨーロッパの旧体制を立て直すため、⁽⁴⁾オーストリアの外相 (のち宰相) メッテルニヒは、1814年9月から翌1815年6月にかけてウィーン会議を開催し、フランス、ロシア、イギリス、プロイセン、オーストリアなどとの⁽⁵⁾間の利害調整を経てウィーン議定書の調印にこぎつけた。この会議を主催したメッテルニヒは、身分的特権を否定し民衆の政治参加を求める自由主義や、民族の統一や独立を要求する国民主義を、伝統的政治秩序を脅かすものとして退けた。しかし、ウィーン体制はフランス革命とナポレオン支配によって生まれた変革の動きを抑え込むことはできなかった。⁽⁶⁾統一国家の形成が遅れていたイタリアとドイツでも、19世紀後半に近代国家が成立した。⁽⁷⁾

C 19世紀のヨーロッパは、今日もよく知られている文学・芸術・音楽が生まれ、かつてない⁽⁸⁾ほど広範な市民にまで影響が広がった時代であった。また資本主義社会の成立に伴い、新しい社会の現実に立ち向かうさまざまな思想が生まれた。⁽⁹⁾さらに産業文明を支える科学・技術上の進歩もめざましく、ヨーロッパは自然科学や技術でも世界をリードしていった。

問1 Aの文中の下線部(1)に関連する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

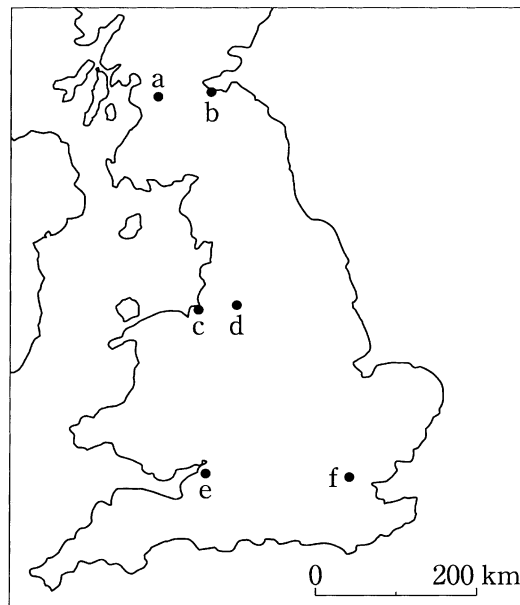
31

- ① 北アメリカでは、フレンチ=インディアン戦争と呼ばれるイギリスとフランスの植民地戦争が戦われた。
- ② 七年戦争の後にイギリスとフランスとの間で締結されたロンドン条約で、フランスはミシシッピ川以東のルイジアナ、フロリダ、西インド諸島の一部およびセネガルを失った。
- ③ イギリス東インド会社はプラッシーの戦いでフランスを破り、その後1954年までボンダイシェリとシャンデルナゴルを含むインド全体を支配した。
- ④ 17世紀末にフランス領となっていたカリブ海のイスパニョーラ島では、イギリス軍の指揮下で革命が起こり、史上はじめての黒人共和国、ハイチが誕生した。

問2 下線部(2)に関連して、綿工業の中心となった都市は次の図のa～fのうちどれか。①～⑥の中から正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

32

図 産業革命時代のイギリス



- ① a
- ② b
- ③ c
- ④ d
- ⑤ e
- ⑥ f

問3 下線部(2)と(3)に関連して、イギリスの産業革命とその影響に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

33

- ① 大規模な機械制工場が出現して安価な商品が供給され始めると、農家の家内工業やギルド制手工業は急速に没落した。
- ② 大工場を経営する産業資本家が経済の体制を左右するようになり、イギリスでは利潤を追求する資本主義体制が確立した。
- ③ イギリスは「世界の工場」として工業製品を大量に輸出し、機械技術を他国へは一切移転しなかったため、他のヨーロッパ諸国では資本主義の発達が大幅に遅れた。
- ④ 資本家の多くは利潤の追求を優先して労働者に長時間労働や低賃金を強制し、深刻な労働問題や社会問題が発生した。

問4 下線部(3)に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

34

- ① イギリスの経済的繁栄と圧倒的な軍事力を背景に比較的平和な国際秩序が生まれた。この一体化した世界をパクス=ブリタニカという。
- ② 16世紀半ば以降オランダ人が植民地化していたカナダは、英蘭戦争の結果イギリスの自治領となって今日に至る。
- ③ イギリスの保守党のジョゼフ=チェンバレン首相はスエズ運河会社の株式を買収して運河の経営権を握り、インドへの道を確保した。
- ④ マルサスやリストの流れを引くリカードらの古典派経済学が自由な国際分業と植民地政策に理論的な根拠を与えた。

問5 Bの文中の下線部(4)に関連してナポレオン (=ボナパルト) に関する以下のア～エの出来事を古い順番に並べたときに、正しいものを①～⑧の中からひとつ選び、その番号をマークせよ。

35

ア：私有財産の不可侵や法の前の平等などを定めるナポレオン法典を公布した。

イ：プロイセン・ロシアの連合軍を破って、ティルジット条約を結ばせた。

ウ：イギリスとインドの連絡を絶つ目的でエジプトに遠征した。

エ：ベルリンで大陸封鎖令を発して、諸国にイギリスとの通商を禁じた。

- ① ア → イ → ウ → エ
- ② ア → ウ → エ → イ
- ③ イ → ア → エ → ウ
- ④ イ → エ → ウ → ア
- ⑤ ウ → ア → エ → イ
- ⑥ ウ → エ → ア → イ
- ⑦ エ → ア → イ → ウ
- ⑧ エ → イ → ウ → ア

問6 下線部(5)について、この議定書に基づいて成立したいわゆるウィーン体制に関する次の

①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

36

- ① ドイツではかつての封建領邦体制や神聖ローマ帝国は復活しなかったが、35の君主国と4つの自由市からなるドイツ連邦が成立した。
- ② フランスではナポレオンの退位直後にルイ18世が即位し、ブルボン朝が復活した。
- ③ ロシア皇帝アレクサンドル2世は、宗教・平和・正義を防衛するためとして、オーストリアとプロイセンに呼びかけ、神聖同盟を提唱した。
- ④ イギリス・ロシア・オーストリア・プロイセンはウィーン体制を維持するための軍事的・政治的同盟として四国同盟を結成し、のちにフランスが加わり五国同盟となった。

問7 下線部(6)について、ウィーン体制の動揺や変革に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

37

- ① ロシアでは、ナポレオン戦争に従軍して西欧の自由主義精神を学び、自国の後進性を痛感した青年貴族将校によってデカブリスト（十二月党员）の乱が起こった。
- ② フランスでは、ルイ18世を継いだルイ=フィリップが行った反動政治に対して国民が抗議し、選挙で反政府派が勝利するとオルレアン家のシャルル10世が王に迎えられ、七月王政が成立した。
- ③ ラテンアメリカでの独立運動に対してメッテルニヒは反対したが、イギリスはラテンアメリカへの経済的進出を狙って、独立運動を支持した。
- ④ フランスの二月革命の影響を受けて各地で民衆が蜂起した結果、オーストリアではメッテルニヒが失脚し、プロイセンでは自由主義内閣が成立した。

問8 下線部(7)に関連する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

38

- ① サルデーニャ王ヴィットーリオ=エマヌエーレ2世はマッツイーニを首相に起用してイタリア統一に成功し、初代国王となった。
- ② イタリア王国は1866年にヴェネツィアを併合し、1870年にはローマ教皇領も占領して国家統一を実現したが、トリエステ・ロンバルディアはオーストリア領にとどまり、「未回収のイタリア」と呼ばれた。
- ③ ドイツの統一を巡って、プロイセンを中心にオーストリアを排除して行う方式は小ドイツ主義、オーストリアのドイツ人地域とベーメン（ボヘミア）を含む方式は大ドイツ主義と呼ばれた。
- ④ 普墺（プロイセン=オーストリア）戦争、普仏（プロイセン=フランス）戦争を経てプロイセンを土台とするドイツ帝国が成立すると、統一から除外されたオーストリアとの間にはドイツ関税同盟が結ばれ、経済的にはドイツ世界が統合された。

問9 Cの文中の下線部(8)に関する次の①～⑤の記述のうち正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

39

- ① フランスの象徴主義派の詩人ゾラは『居酒屋』を著した。
- ② ドイツのロマン派の作家ハイネは『ドイツ冬物語』を著した。
- ③ フランスの古典派の作曲家ショパンはピアノ曲「革命」を作曲した。
- ④ フランスの耽美主義派の画家ミレーは『落穂拾い』を描いた。
- ⑤ ドイツの後期印象派の画家ゴッホは『ひまわり』を描いた。

問10 下線部(9)に関する次の①～⑤の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

40

- ① ドイツのマルクスは、史的唯物論に基づいて資本主義の研究を『資本論』としてまとめた。
- ② ドイツのランケは、厳密な史料批判に基づく近代歴史学の基礎を作った。
- ③ イギリスのベンサムは、「最大多数の最大幸福」を標語とする功利主義を唱えた。
- ④ ドイツの哲学者コントは、実証主義に基づいた社会学を創始した。
- ⑤ イギリスの哲学者スペンサーは、適者生存を社会に適用して社会進化論を唱えた。

V 19世紀末以降のアジアに関する次のA～Cの文章を読み、それに続く問1～10に答えよ。

A オスマン帝国では憲法（ミドハト憲法）を廃止したスルタンがパン=イスラーム主義を利用して体制維持を図ったが、これに反対する青年知識人・将校（青年トルコ）は統一と進歩団（統一と進歩委員会）を結成して政府に迫って憲法を復活させ、政権を掌握した。その後不安定な政局が続いたが、第一次世界大戦後にはムスタファ=ケマル（ケマル=アタテュルク）の抵抗運動が起きた。彼は1923年に連合国との間に条約を結んで、関税自主権の回復と治外法権の廃止を実現し、アンカラを首都とするトルコ共和国を樹立した。イランでは、19世紀末からアフガーニーの呼びかけで、イギリスに対して政府が与えたタバコの独占利権に反対するタバコ=ボイコット運動が展開され、1906年にはフランスの人権宣言の影響を受けた憲法が公布された。第一次世界大戦中、イランは中立を宣言したにもかかわらず、イギリスとロシアの介入を受けていたが、同大戦後レザー=ハーンがクーデタによって実権を握り、新たな王朝を開いた。

B 中国では第一次世界大戦後にコミンテルンの支援によって を指導者とする中国共産党が結成された。一方、中国国民党を基盤に革命運動の推進をめざしていた孫文も、ソ連の援助を受け入れて顧問を招き、1924年に国民党を改組して党組織の近代化をはかるとともに、共産党員が個人の資格で国民党に入党することを認めた（第一次国共合作）。1925年になると、国民党は広州で国民政府を樹立し、翌年、 の率いる国民革命軍が中国統一をめざして北伐を開始した。しかし国民政府内部では大衆運動の拡大を目指す共産党員ら左派と、これを警戒する右派とが対立を深め、 は共産党を弾圧し、南京に国民政府を建てて主席となった。第二次世界大戦中も続いた国民党と共産党との衝突は戦後に再燃し、中国のその後の政局を大きく変えることとなった。 が率いる国民党政権は党幹部の腐敗、激しいインフレーションによる経済混乱で民衆の批判を浴びた。国民党軍は敗北を重ねて、1949年12月に は台湾に逃れ、ここで中華民国政府を維持した。一方、共産党は同年9月に国民党に反対する勢力を北京の人民政治協商会議に招集し、この会議で翌10月に中華人民共和国の成立を宣言した。1960～70年代のプロレタリア文化大革命と呼ばれる権力闘争が終わった後、失脚していた を中心に新指導部が成立した。 らは人民公社の解体、国営企業の独立採算化など一連の改革・開放政策を断行した。

C 第一次世界大戦後、東南アジアにおいても民族運動が強まった。1920年に が支配していたインドネシアではインドネシア共産党が結成され、 が支配していたインドシナでは、1925年にホー=チ=ミンがベトナム青年革命同志会を結成し、それを母体に

1930年にベトナム共産党が結成された。また が支配していたビルマ（ミャンマー）では、1920年代から民族運動が始まり、僧侶による啓蒙運動やタキン党による独立運動の台頭が見られた。このうち第二次世界大戦期に日本の占領下となっていたインドシナでは、戦後ベトナム民主共和国が宣言されたが、 がこれを認めず、ベトナム国を誕生させる一方、民主共和国と交戦を続けた。ディエンビエンフーでの戦いで大敗した は民主共和国と協定を結んでインドシナから撤退したが、このあと共産主義勢力の拡大を阻止するべくアメリカ合衆国がこの地に関与するようになり、1955年には合衆国が支援したゴ=ディン=ジェム政権が南部にベトナム共和国を樹立した。1960年に南ベトナムの解放をめざす南ベトナム解放民族戦線が結成され、ベトナム民主共和国と連携して、ゲリラ戦を展開した。他方、1963年にはマラヤ連邦がシンガポールや 領ボルネオと合体してマレーシアとなったが、1965年に中国系住民を中心としてシンガポールが分離、独立した。1967年には東南アジア5か国で東南アジア諸国連合（ASEAN）が結成された。⁽⁷⁾

問1 Aの文中の下線部(1)について、このときのスルタンとして正しいものを次の①～④の中からひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① アブデュルメジト1世
- ② アブデュルハミト2世
- ③ シャー=ジャハーン
- ④ ミドハト=パシャ

問2 下線部(2)について、この条約名として正しいものを次の①～⑤の中からひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① ロカルノ条約
- ② ヴェルサイユ条約
- ③ サン=ジェルマン条約
- ④ セーヴル条約
- ⑤ ローザンヌ条約

問3 下線部(3)について、この新たな王朝名として正しいものを次の①～⑥の中からひとつ選び、その番号をマークせよ。

43

- ① パフレヴィー朝
- ② ティムール朝
- ③ サファヴィー朝
- ④ カージャール朝
- ⑤ セルジューク朝
- ⑥ ブワイフ朝

問4 Bの文中の と に入る人物名の組み合わせとして正しいものを次の①～⑧の中からひとつ選び、その番号をマークせよ。

44

- ① a：毛沢東 b：陳独秀
- ② a：毛沢東 b：李登輝
- ③ a：蔣介石 b：毛沢東
- ④ a：蔣介石 b：張学良
- ⑤ a：陳独秀 b：蔣介石
- ⑥ a：陳独秀 b：張学良
- ⑦ a：張学良 b：李登輝
- ⑧ a：張学良 b：蔣介石

問5 下線部(4)の人物が行った事柄に関する次の①～⑤の記述のうち正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

45

- ① 民族・民権・民生の三民主義を掲げた。
- ② 科挙制度を廃止した。
- ③ 日本商品の排斥やストライキを中心とする愛国的な三・一独立運動を指揮した。
- ④ 海外の華僑や留学生を集めて、扶清滅洋のスローガンをもつ興中会を設立した。
- ⑤ 「大躍進」運動を指示して、農村での人民公社設立を進めた。

問6 に入る人物名として正しいものを次の①～⑦の中からひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① 胡錦濤
- ② 習近平
- ③ 周恩来
- ④ 劉少奇
- ⑤ 鄧小平
- ⑥ 趙紫陽
- ⑦ 華国鋒

問7 Cの文中の ～ に入る国名の組み合わせとして正しいものを次の①～⑥の中からひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① d：イギリス e：フランス f：オランダ
- ② d：イギリス e：オランダ f：フランス
- ③ d：オランダ e：フランス f：イギリス
- ④ d：オランダ e：イギリス f：フランス
- ⑤ d：フランス e：イギリス f：オランダ
- ⑥ d：フランス e：オランダ f：イギリス

問8 下線部(5)の国について、1920年代末期にインドネシア国民党を結成して、 からの独立運動を推進した人物として正しいものを次の①～⑥の中からひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① スカルノ
- ② スハルト
- ③ ネルー
- ④ アウン=サン
- ⑤ シハヌーク
- ⑥ マルコス

問9 下線部(6)について、このあと起こるベトナム戦争に関連する(ア)～(ウ)の記述の正誤を示すものとして正しいものを①～⑤の中からひとつ選び、その番号をマークせよ。 49

(ア) 南ベトナム解放民族戦線の攻勢が厳しくなる中、アメリカ合衆国のジョンソン政権はベトナム共和国に対して本格的な軍事援助を開始し、1965年からケネディ政権は北ベトナムへの爆撃に踏み切った。

(イ) 1973年にベトナム（パリ）和平協定が締結され、同年にアメリカ合衆国の大統領に選出された民主党のカーター大統領は米軍のベトナムからの撤退を実現させ、戦闘は終息した。

(ウ) 北のベトナム民主共和国軍と南ベトナム解放民族戦線は1975年にサイゴン（現ホーチミン）を占領して南北を統一し、翌年にポル=ポトを大統領とするベトナム社会主義共和国を樹立した。

- ① (ア)のみ正しい
- ② (イ)のみ正しい
- ③ (ウ)のみ正しい
- ④ すべて正しい
- ⑤ すべて誤りである

問10 下線部(7)について、結成時のこの5か国に入らない国を次の①～⑥の中からひとつ選び、その番号をマークせよ。 50

- ① インドネシア
- ② マレーシア
- ③ タイ
- ④ ラオス
- ⑤ シンガポール
- ⑥ フィリピン